

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成 12 年 5 月期)

水質概要

5 月の水温は、表 1 に示すとおり平年値（上層 19.3、中層 18.6、下層 18.4）に比べてほぼ平年並の変動であった。図 1 に示すように、5 月中旬から下旬では上旬に比べ、5 ほど上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。5 月 24 日、29 日の 25 psu 以上の高塩分水流入時に中層および下層で水温の急激な下降が見られた。

5 月の塩分は、表 1 に示すとおり平年値（上層 8.0 psu、中層 11.6 psu、下層 14.3 psu）に比べて、上層、中層、下層ともに平年並の値を示していた。また、5 月においては 15 psu 以上の高塩分水の流入は 25 日間観測され、5 月 24 日-31 日にかけて中層および底層に 20psu 以上の高塩分水が長期間にわたって停滞していた。このことは、5 月 27 日-28 日の気圧の急激な低下によるものと考えられる。

5 月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた（図 2 参照）。

5 月の溶存酸素濃度は、表 1 に示すとおり上層・中層・下層ともに 4.5-7.0 mg/l と比較的高い値を示していた（平均値：上層 6.0、中層：5.2、下層：5.5 mg/l）。

図 1 に示すように、全層にわたってほぼ 4.0 mg/l 以上と高い値を示していた。また、15 psu 以上の高塩分水流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。とくに顕著な変動は、5 月 24 日-31 日が顕著であった。

表 1 5 月期の水質概要

		水温()	塩分 (PSU)	溶存酸素濃度 (mg/l)
上旬	上層	17.9	8.5	7
	中層	17.5	10.7	5.5
	下層	17.7	12.5	6.8
中旬	上層	19.2	7.5	5.3
	中層	19.1	8.4	5.4
	下層	19.2	9.6	5.3
下旬	上層	21.5	8.6	5.8
	中層	21.2	13.5	4.8
	下層	21	16	4.5
月間平均 (5月)	上層	19.6	8.2	6
	中層	19.3	10.9	5.2
	下層	19.4	12.8	5.5

(水温・塩分平年値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994 年 5 月より引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

水質

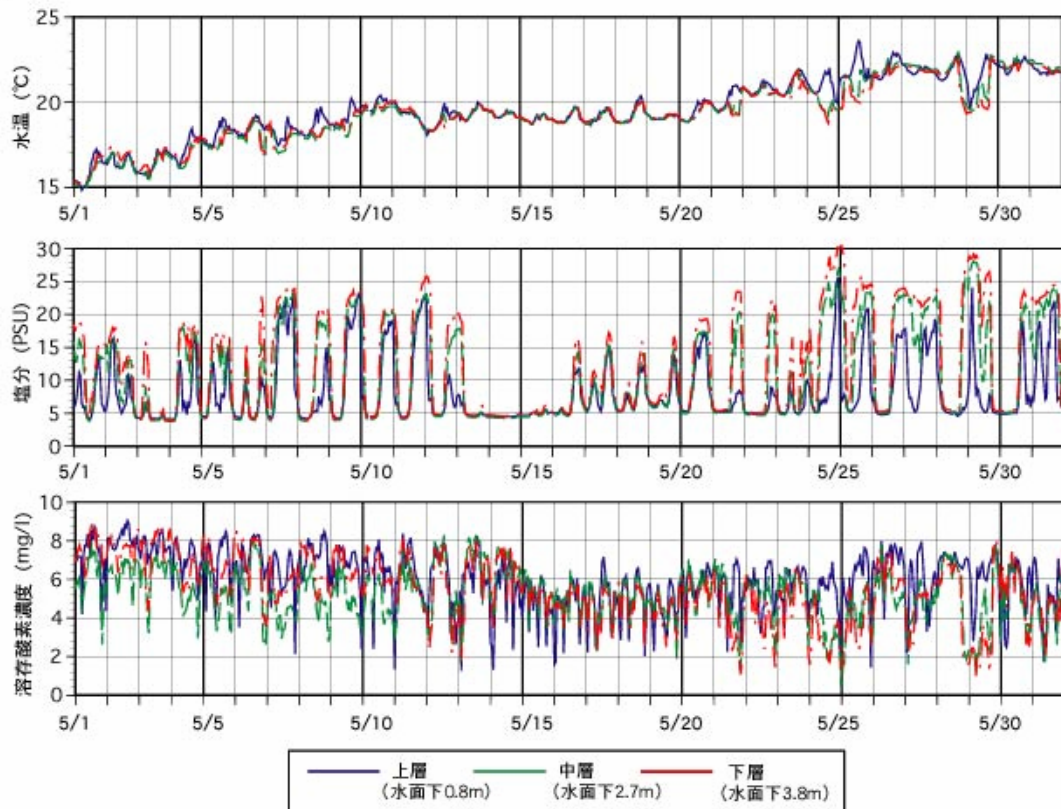


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

5月は、表2に示すとおり、平均気温18.1（平年値17.1）であり、ほぼ平年並であった。

図2に示すように、5月の顕著な気圧変動は、5月27-28日、31日であった。

平均気圧1008 hPaは、平年値（平年値1012 hPa）と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、5月の日射量は、0.122 MJ/m²であり、4月と比較して若干大きかった（4月平均値：0.106 MJ/m²）。

5月の風向・風速は、平均風速2.7 m/sec（平年値3.3 m/sec, 西風）であり、平年並であった。

表 2 5月期の気象概要

	気温()	気圧(hPa)	風速(m/sec)	風向	日射量(MJ/m ²)
上旬	16.7	1010	2.7	南西	0.145
中旬	16.5	1007	2.3	南東	0.088
下旬	20.7	1007	3	南南西	0.132
月間平均(5月)	18.1	1008	2.7	南	0.122

(平年値は、平成 11 年気象の暦(山陰版)(財)日本気象協会中国センターより引用)(表中の数字は、平均値を示す)

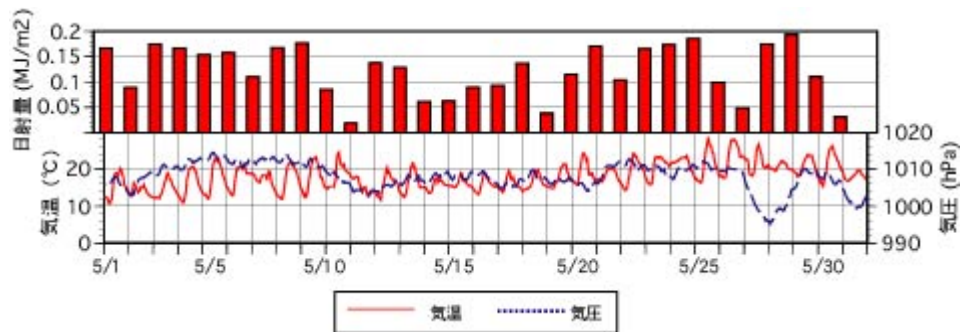


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

5月期の平均東方流速は、上層 9.4cm/sec、中層 3.7cm/sec、下層 2.8cm/sec であった。5月の東方流速は、5月 27 日-28 日の気圧低下時に中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。

5月においては、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

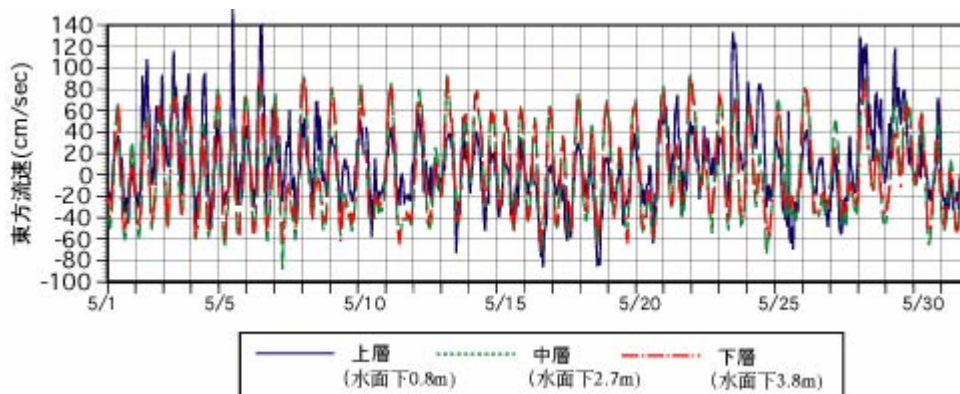


図 3 東方流速の時系列変化